

福島第一原子力発電所現地確認報告書

1 確認日

令和5年10月18日（水）

2 確認箇所

- (1) 5・6号機敷地護岸ヤード
- (2) K4タンクエリア南側

3 確認項目

- (1) 多核種除去設備等処理水の試料採取状況
- (2) ALPS処理水受入の準備状況

4 確認結果の概要

(1) 多核種除去設備等処理水の試料採取状況

第2回目の多核種除去設備等処理水（以下、「ALPS処理水」という。）の放出が、測定・確認用タンクC群を対象に、10月5日から実施されている。

東京電力は、放出中は毎日、希釈後のALPS処理水を放水立坑（上流水槽）上流の海水配管から採取、分析することとしている。本日は、その採取状況を確認した。（図1及び図2）（前回確認日：令和5年8月30日）

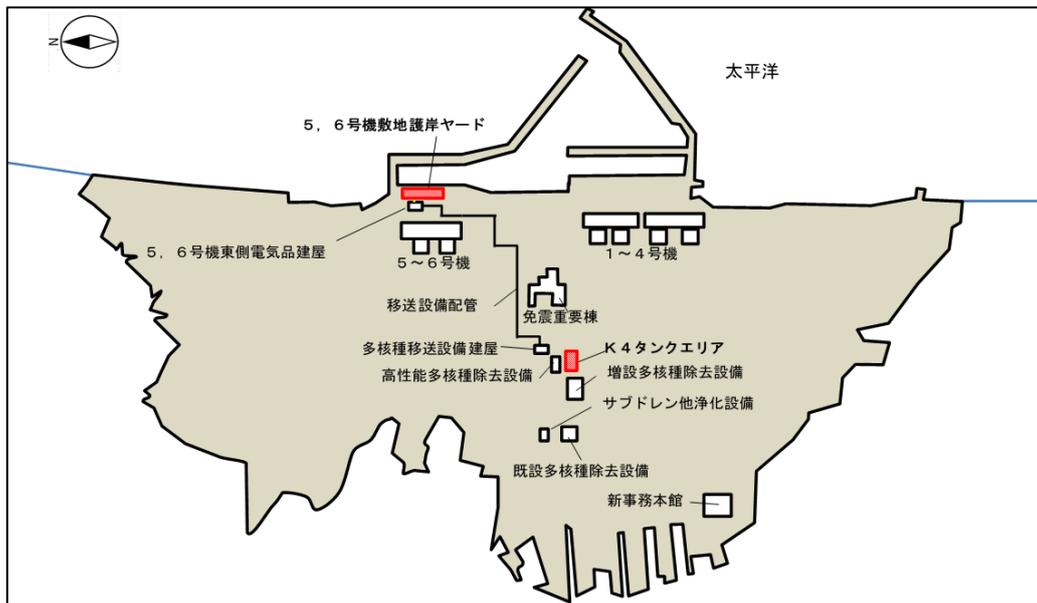
- ・上流水槽北側に設置された試料採取設備（サンプリングラック）にて、午前8時21分から採取作業が行われた。（写真1）
- ・採取作業は、配管内のフラッシング（洗浄）※、容器の共洗い、試料採取の順で行われた。（写真2）
- ・ポリ容器（500mL）を使って採取が行われた。ポリ容器には、試料名、採取者等が記載されたラベルが貼付されており、採取後に採取時間を記入していた。（写真3）
- ・日々採取された試料の分析結果は、採取翌日に公表されている。今回公表された分析結果は150Bq/L（放出基準：1,500Bq/L）であった。

※ 配管内に一定時間、希釈後のALPS処理水を通水することにより実施。

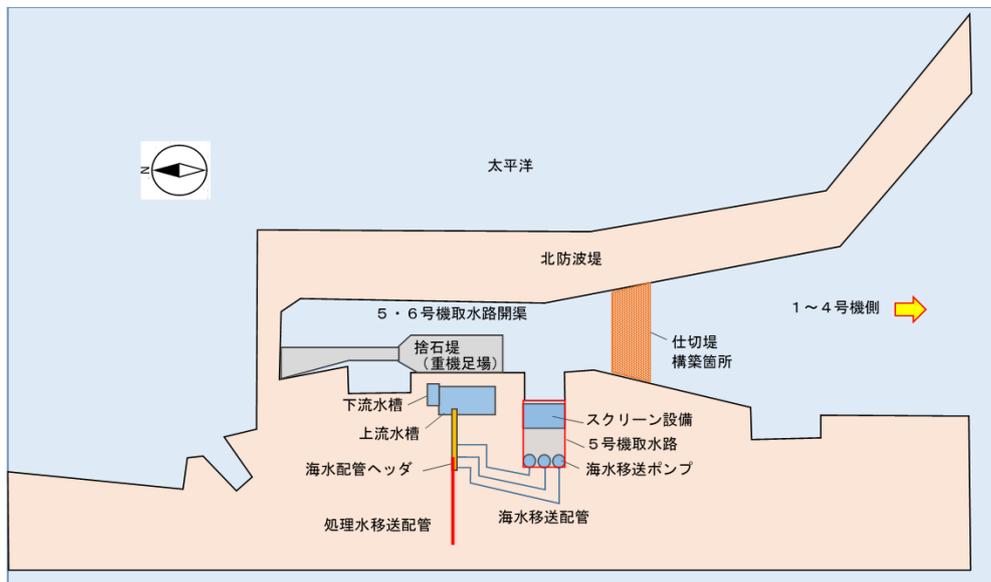
(2) ALPS処理水受入の準備状況

放出前のALPS処理水を循環・攪拌し、放射性物質の濃度が基準以下であることを確かめる測定・確認用設備としてK4タンクエリアが使われており、初回放出で使用されたB群タンクに他のタンクのALPS処理水を受け入れる際は、沈降性の物質を考慮しフィルタを介して移送することから、その準備状況について確認を行った。

- ・ K 4 タンクエリア南側では、協力企業作業員によりフィルタ等の設備の設置作業が行われていた。(写真 4)



(図 1) 福島第一原子力発電所構内概略図



(図 2) 5・6号機敷地護岸ヤード付近の概要図



(写真1)
サンプリングラックの状況



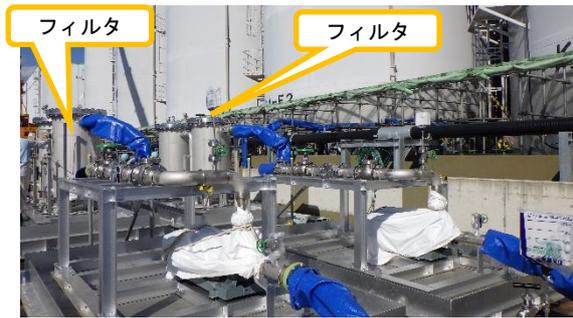
(写真2)
試料採取の状況



(写真3)
採取した試料



(写真4-1)
K4タンクエリア南側におけるフィルタ等設備の設置作業状況①



(写真4-2)

K4タンクエリア南側におけるフィルタ等設備の設置作業状況②

5 プラント関連パラメータ等確認

本日確認したデータについて、異常な値は確認されなかった。